

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイさくらんぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日	～	令和8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日	～	令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での個別療育をおこなっているため、児童それぞれの発達や特性に合わせた活動プログラムを組んでいます。個々の活動だけでなく他の児童と一緒に活動することもあります。個々のきめ細かい療育と集団での社会性やコミュニケーション能力の向上、どちらもバランスよく活動に組み込んでいます。	児童の特性や発達について、定期的に職員間で話し合い活動プログラムや療育内容を決めています。職員間で情報共有することにより、一貫した療育を行うことができると考えています。また、集団での活動を行う際には、児童同士の相性等も考えて活動内容やお出かけ先を決定しています。	活動がワンパターンになってしまわないよう、個別療育・集団活動ともに研修に参加したりインターネット等による情報収集を行い、常に新しい物を取り入れるようにしていきたいと思っています。
2	送迎場所や送迎時間において、ご家庭の都合や児童の体調等に合わせて柔軟に対応しています。気軽にご相談いただけるよう、電話、メール、連絡ノートなど、様々な連絡ツールをご用意しています。	一時的な祖父母宅への送迎や自宅、学校・学童等への送迎など、それぞれのご家庭の都合に配慮した送迎を行っています。事前に保護者や学校・学童等と打合せや確認を行い、児童を安全に送迎できるよう心がけています。	送迎時に次回利用日の送迎時間や送迎場所を確認して、間違いや忘れのないよう努めていきたいと考えています。保護者からいただいた送迎時間の変更連絡は職員間で共有し、何重にも確認していきます。
3	一戸建ての家屋を施設として利用しているため、「施設」という雰囲気はなく児童もリラックスして過ごすことができます。また職員同士も連携をとれており、明るく暖かい雰囲気で療育を受けていただくことができています。	施設の内装が白を基調としているため、殺風景になってしまわないよう壁面装飾などでカラフルに飾り付けています。また、児童の状態や課題に関して職員間で情報を共有し、担当外の職員でも気軽に声を掛け合ったり会話を楽しむ等、楽しい空間を作ることが出来るよう工夫しています。	毎月児童の製作物を数種類飾ったり、季節に合わせた壁面装飾を月ごとに貼り替えて、いつでも楽しんでもらえるようにしています。児童の製作については、季節に合うもので指先の訓練にもなるものを毎月準備しています。持ち帰った際には保護者からもご好評いただいています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2階へ上がる階段や、リビングにも3段ほどの段差がある。	一戸建ての住宅を施設として利用し、活動スペースのほとんどが2階にあるため、どうしても階段を昇っていただく必要があります。また、リビングにあたる大部屋には3段の段差があります。	手すりやベビーゲートを設置し、安易に階段スペースへ出入りできないようにしているなど、階段や段差を安全に昇降できるように努めています。児童が階段の昇り降りをする際には必ず職員が下側に付き添うようにしており、必要に応じて手すりを使うよう促したり手を添えたりして対応しています。リビングの段差では床と段の境目をわかりやすくするようカラーテープを貼って注意を促しています。こちらには手すりが無いので、職員が声を掛けたり手を添える等して安全に気を付けています。
2	個室が少ない。	一戸建ての住宅を施設として利用しているため、完全な個室が2部屋しかありません。	リビングの一部をカーテンで仕切り、できるだけ児童が集中して課題や活動に取り組むことが出来るような半個室を作っています。音が気になる児童や集中力が持続しにくい児童が優先的に個室を利用できるように配慮しています。
3	経験豊富な職員が少ない。	開所して間もないこともあり、療育の経験のある職員が少ないのが現状です。	児発管や児童発達支援・放デイでの療育経験のある職員、また他事業所の方から助言をいただいたり、さまざまな研修を受ける等日々知識を深める努力をしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイさくらんぼ

公表日 令和8年 2月 19日

利用児童数 25名

回収数 13件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0	適切だと思います。	それぞれの特性を考慮しながら、活動しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	4	他の通所デイと比べて人員配置が適切だと思います。	支援に十分な職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	3	快適な空間を提供していただけています。	段差や階段がありますが、視覚支援や必要に応じて介助を行いながら安全に活動できるよう工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0	他のデイでは特性に応じた支援が受けられず困っていましたが、こちらでは支援が適切だと感じます。	職員間で情報を共有しながら、それぞれに必要な支援を適切に行っていけるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	2	工夫されています。週に数回利用していますが、飽きずに喜んで通所しています。	季節ごとの製作やイベント、おでかけなどを計画しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	0	8	通所を知られたくない方に配慮し、そのような機会を設けていないのではと思っています。	現時点では地域のお子様との交流は行っていません。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	2	面談時に決めていただいた支援内容と、普段の様子を教えていただけています。	個別支援計画の更新ごとに支援内容を説明させていただき、ご理解をいただいたうえで支援をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	2	9	通所を知られたくない方に配慮し、そのような機会を設けていないのではと思っています。	現時点ではペアレントトレーニング等の支援プログラムは予定しておりません。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	4	6	お子さんの発達や特性で悩まれている保護者の方は、そうでない方には相談できない悩み事があるかもしれないので、交流の機会を設けることも一つの支援になるのではないかと考えます。	いただいたご意見を踏まえ、今後検討していきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	1	1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	毎回楽しみにして通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	1	毎回楽しみにして通所しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0	学習能力の底上げに協力していただけています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイさくらんぼ				公表日	令和8年 2月 19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分な広さがあり、個別療育が必要な児童のためのスペースも用意しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		特に注意が必要であったり丁寧な支援が必要な児童に対して、マンツーマンで支援することもできる体制を整えています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	階段や室内に段差があるが、段差部分にカラーテープを貼ったり、絵カードを掲示するなど視覚的に分かりやすくしています。	・玄関外の階段やスロープに手すりがあった方がよい。 ・室内の段差にクッションカバーなどケガ防止のための対策をした方がよい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日清掃・消毒・換気を行い、適温で活動しやすい空間を保っています。季節ごとの壁面飾りなどで明るい空間となっています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		児童の状態・特性に合わせて個室やカーテンで仕切った半個室を使用することができます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週1回の職員会議のほかに、必要に応じて話し合いの場が設けられています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様のご意見やご意向を職員間で共有し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週1回の職員会議のほかに、必要に応じて話し合いの場が設けられています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていません。	現時点で第三者評価を受ける予定はありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修、訓練を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に保護者様と面談を行い、課題や意向を確認したうえで個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画をもとに職員会議を行い、共通理解のもとでそれぞれの児童に最適な支援を行えるよう情報共有しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画をもとに職員会議を行い、共通理解のもとでそれぞれの児童に最適な支援を行えるよう情報共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の活動の中で気になることなど、職員間で情報共有しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントをもとに、適切な支援計画を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で連携を取り、情報共有しながらプログラムの立案をしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		長期休み中などは遠くへお出かけをしたり季節のイベントを行うなど、いつも同じプログラムにならないよう工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	児童の状態や特性に合わせて個別活動・集団活動を組み合わせ支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	職員間で当日の活動内容を共有し、児童の状態を見ながら臨機応変に対応し、連携して支援しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	児童の様子等で気になることや送迎時の保護者とのやりとり等、必要に応じて情報共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎日業務日誌を記録し、支援の検証や改善につなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	1日のうちで2つ以上の活動ができるよう工夫しながら活動計画を立てています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	いくつかの選択肢の中から児童自身が選択できる機会を作っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童の担当職員が参加し、持ち帰った情報を職員間で共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校の先生や相談支援員さん、医療機関などと連携して支援を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校への送迎時に先生と情報共有させていただいています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	必要に応じて情報共有させていただいています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	まだそこまでの年齢に達している利用者がいませんが、今後必要に応じて情報を提供したいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	まだそのような機会は設けていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	通所していることを知られたくない保護者様もおられるため、そのような機会は設けておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	機会があれば参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	毎回連絡帳にその日の様子を詳しく記載して渡しているのと、送迎時にお話をさせていただいています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	通所していることを知られたくない保護者様もおられるため、そのような機会は設けておりません。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を行い、同意を得ています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画書の更新時に面談を行い、児童やご家族の意向を確認させていただいています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	支援計画書の更新時に説明を行い、同意をえたうえでサインをしていただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	必要に応じて面談や支援をさせていただきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	通所していることを知られたくない保護者様もおられるため、そのような機会は設けておりません。

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情の受付窓口を明示し、苦情があった場合には担当者が迅速かつ適切に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回おたよりの配布とホームページでブログやSNSでの配信も行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いは十分留意して行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝わりやすいよう配慮しながら情報伝達するよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		通所していることを知られたくない保護者様もおられるため、そのような機会は設けておりません。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは職員がいつでも手に取れる場所に保管し、定期的に訓練や研修を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練や研修を行っています。物資の備蓄もしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認し、必要な対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に訓練や研修を行い、安全管理が十分された中で支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修や話し合いを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		定期的に研修を行い、契約時と計画書の更新時に保護者に説明したうえで同意をいただいています。		